

資料編

資料 I 死亡事例集計結果

(留意点)

- (1) 有効割合とは、当該数を総数から不明等を除いた数で除して算出したものである。以下、断り書きのないものについては構成割合を示す。
- (2) 構成割合は四捨五入で表示しているため、合計しても 100% とならない場合がある。また、構成割合がそれぞれ累積構成割合と合わない場合がある。

1 死亡した子どもの年齢・性別

- 平成 22 年 4 月から平成 23 年 3 月までの 1 年間に厚生労働省が把握した子ども虐待により死亡した事例は、心中以外の虐待死事例で 45 例 (51 人)、心中による虐待死事例 (心中未遂で子どものみ死亡し、加害者が死亡しなかった事例を含む。) で 37 例 (47 人) であった。

第 7 次報告の対象期間である平成 21 年 4 月から平成 22 年 3 月までの 1 年間と比較すると、心中以外の虐待死事例では 2 例減ったものの 2 人の増加、心中による虐待死事例では 7 例 (8 人) の増加であった。

表 I-1-1 死亡事例数及び人数

区分	平成21年4月から平成22年3月まで			平成22年4月から平成23年3月まで		
	心中以外の虐待死	心中による虐待死 (未遂を含む)	計	心中以外の虐待死	心中による虐待死 (未遂を含む)	計
例数	47	30	77	45	37	82
人数	49	39	88	51	47	98

- 性別は、心中以外の虐待死事例では、男が 28 人 (54.9%)、女が 23 人 (45.1%) で、第 7 次報告と比較して、女の割合が増加した。

心中による虐待死事例では、男が 22 人 (46.8%)、女が 25 人 (53.2%) で、第 7 次報告と比較して、男の割合が増加した。

表 I-1-2 死亡した子どもの性別

区分	平成21年4月から平成22年3月まで							平成22年4月から平成23年3月まで						
	心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂を含む)			計	心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂を含む)			計
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
男	28	57.1%	60.9%	25	64.1%	64.1%	53	28	54.9%	54.9%	22	46.8%	46.8%	50
女	18	36.7%	39.1%	14	35.9%	35.9%	32	23	45.1%	45.1%	25	53.2%	53.2%	48
不明	3	6.1%	/	0	0.0%	/	3	0	0.0%	/	0	0.0%	/	0
計	49	100%	100%	39	100%	100%	88	51	100.0%	100.0%	47	100.0%	100.0%	98

○ 死亡した子どもの年齢は、心中以外の虐待死事例では、3歳以下で43人(84.3%)と8割を占めていた。内訳は、0歳が23人(45.1%)、1歳が9人(17.6%)、2歳が7人(13.7%)、3歳が4人(7.8%)であった。

心中による虐待死事例では、3歳以下で14人(29.8%)と3割未満に留まり、子どもの年齢にはばらつきがみられた。

表 I-1-3 死亡した子どもの年齢

年齢	平成21年4月から平成22年3月まで								平成22年4月から平成23年3月まで							
	心中以外の虐待死				心中による虐待死(未遂を含む)				心中以外の虐待死				心中による虐待死(未遂を含む)			
	人数	構成割合	有効割合	累計有効割合	人数	構成割合	有効割合	累計有効割合	人数	構成割合	有効割合	累計有効割合	人数	構成割合	有効割合	累計有効割合
0歳	20	40.8%	42.6%	42.6%	5	12.8%	12.8%	12.8%	23	45.1%	45.1%	45.1%	3	6.4%	6.4%	6.4%
1歳	8	16.3%	17.0%	59.6%	1	2.6%	2.6%	15.4%	9	17.6%	17.6%	62.7%	5	10.6%	10.6%	17.0%
2歳	3	6.1%	6.4%	66.0%	3	7.7%	7.7%	23.1%	7	13.7%	13.7%	76.5%	3	6.4%	6.4%	23.4%
3歳	7	14.3%	14.9%	80.9%	5	12.8%	12.8%	35.9%	4	7.8%	7.8%	84.3%	3	6.4%	6.4%	29.8%
4歳	2	4.1%	4.3%	85.1%	2	5.1%	5.1%	41.0%	2	3.9%	3.9%	88.2%	4	8.5%	8.5%	38.3%
5歳	3	6.1%	6.4%	91.5%	6	15.4%	15.4%	56.4%	3	5.9%	5.9%	94.1%	3	6.4%	6.4%	44.7%
6歳	0	0.0%	0.0%	91.5%	2	5.1%	5.1%	61.5%	0	0.0%	0.0%	94.1%	5	10.6%	10.6%	55.3%
7歳	2	4.1%	4.3%	95.7%	4	10.3%	10.3%	71.8%	0	0.0%	0.0%	94.1%	2	4.3%	4.3%	59.6%
8歳	0	0.0%	0.0%	95.7%	1	2.6%	2.6%	74.4%	1	2.0%	2.0%	96.1%	6	12.8%	12.8%	72.3%
9歳	1	2.0%	2.1%	97.9%	3	7.7%	7.7%	82.1%	0	0.0%	0.0%	96.1%	3	6.4%	6.4%	78.7%
10歳	0	0.0%	0.0%	97.9%	2	5.1%	5.1%	87.2%	0	0.0%	0.0%	96.1%	0	0.0%	0.0%	78.7%
11歳	0	0.0%	0.0%	97.8%	0	0.0%	0.0%	87.2%	1	2.0%	2.0%	98.0%	5	10.6%	10.6%	89.4%
12歳	0	0.0%	0.0%	97.8%	2	5.1%	5.1%	92.3%	0	0.0%	0.0%	98.0%	2	4.3%	4.3%	93.6%
13歳	0	0.0%	0.0%	97.8%	0	0.0%	0.0%	92.3%	0	0.0%	0.0%	98.0%	0	0.0%	0.0%	93.6%
14歳	0	0.0%	0.0%	97.8%	0	0.0%	0.0%	92.3%	0	0.0%	0.0%	98.0%	1	2.1%	2.1%	95.7%
15歳	1	2.0%	2.1%	100%	2	5.1%	5.1%	97.4%	0	0.0%	0.0%	98.0%	2	4.3%	4.3%	100.0%
16歳	0	0.0%	0.0%	100%	0	0.0%	0.0%	97.4%	0	0.0%	0.0%	98.0%	0	0.0%	0.0%	100.0%
17歳	0	0.0%	0.0%	100%	1	2.6%	2.6%	100%	1	2.0%	2.0%	100.0%	0	0.0%	0.0%	100.0%
不明	2	4.1%			0	0.0%			0	0.0%			0	0.0%		
計	49	100%	100%		39	100%	100%		51	100.0%	100.0%		47	100.0%	100.0%	

○ 月齢別の0歳児の死亡事例について、心中以外の虐待死事例は月齢0か月が12人(52.2%)、月齢7か月が3人(13.0%)を占めており、第7次報告と比較して、月齢0か月児事例が増加した。

表 I-1-4 死亡した0歳児の月齢

区分	平成21年4月から平成22年3月まで						平成22年4月から平成23年3月まで					
	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)			心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)		
	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合	人数	構成割合	累計構成割合
0ヶ月	7	35.0%	35.0%	0	0.0%	0.0%	12	52.2%	52.2%	2	66.7%	66.7%
1ヶ月	2	10.0%	45.0%	0	0.0%	0.0%	2	8.7%	60.9%	1	33.3%	100.0%
2ヶ月	2	10.0%	55.0%	1	20.0%	20.0%	1	4.3%	65.2%	0	0.0%	100.0%
3ヶ月	0	0.0%	55.0%	0	0.0%	20.0%	1	4.3%	69.6%	0	0.0%	100.0%
4ヶ月	0	0.0%	55.0%	0	0.0%	20.0%	0	0.0%	69.6%	0	0.0%	100.0%
5ヶ月	0	0.0%	55.0%	1	20.0%	40.0%	0	0.0%	69.6%	0	0.0%	100.0%
6ヶ月	1	5.0%	60.0%	0	0.0%	40.0%	2	8.7%	78.3%	0	0.0%	100.0%
7ヶ月	2	10.0%	70.0%	1	20.0%	60.0%	3	13.0%	91.3%	0	0.0%	100.0%
8ヶ月	1	5.0%	75.0%	2	40.0%	100%	0	0.0%	91.3%	0	0.0%	100.0%
9ヶ月	0	0.0%	75.0%	0	0.0%	100%	0	0.0%	91.3%	0	0.0%	100.0%
10ヶ月	0	0.0%	75.0%	0	0.0%	100%	0	0.0%	91.3%	0	0.0%	100.0%
11ヶ月	3	15.0%	90.0%	0	0.0%	100%	1	4.3%	95.7%	0	0.0%	100.0%
月齢不明	2	10.0%	100%	0	0.0%	100%	1	4.3%	100.0%	0	0.0%	100.0%
計	20	100%	100%	5	100%	100%	23	100.0%	100.0%	3	100.0%	100.0%

2 虐待の種類と加害の状況

- 死因となった虐待の種類は、心中以外の虐待死事例では「身体的虐待」が32人（有効割合で69.6%）、「ネグレクト」が14人（同30.4%）であり、身体的虐待が7割近くを占めており、身体的虐待が最も多い傾向は変わらなかった。

表 I-2-1 主な虐待の種類（心中以外の虐待死）

区分	平成21年4月から平成22年3月まで			平成22年4月から平成23年3月まで		
	心中以外の虐待死			心中以外の虐待死		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
身体的虐待	29	59.2%	60.4%	32	62.7%	69.6%
ネグレクト	19	38.8%	39.6%	14	27.5%	30.4%
心理的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
性的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	1	2.0%		5	9.8%	
計	49	100%	100%	51	100.0%	100.0%

- 3歳未満と3歳以上で区別した心中以外の虐待死事例の死因となった虐待の種類は、3歳未満では、「身体的虐待」が24人（61.5%）、「ネグレクト」が10人（25.6%）であった。3歳以上では、「身体的虐待」が8人（66.7%）、「ネグレクト」が4人（33.3%）であった。3歳未満と3歳以上で、割合に大きな差はなかった。

表 I-2-2 主な虐待の種類（3歳未満と3歳以上）（心中以外の虐待死）

区分	3歳未満		3歳以上	
	人数	構成割合	人数	構成割合
身体的虐待	24	61.5%	8	66.7%
ネグレクト	10	25.6%	4	33.3%
心理的虐待	0	0.0%	0	0.0%
性的虐待	0	0.0%	0	0.0%
不明	5	12.8%	0	0.0%
計	39	100.0%	12	100.0%

- 心中以外の虐待死事例のうち、ネグレクトにより死亡した事例におけるネグレクトの種類（複数回答）は、「家に残したまま外出する等、子どもの健康・安全への配慮を怠る」が9人（64.3%）と最も多く、次いで「遺棄」が6人（42.9%）であった。

表 I-2-3 ネグレクトの種類（心中以外の虐待死）（複数回答）

区分	平成22年4月から 平成23年3月まで	
	心中以外の虐待死（14例）	
	人数	構成割合
家に残したまま外出する等、子どもの健康・安全への配慮を怠る	9	64.3%
子どもにとって必要な情緒的欲求に応えない	2	14.3%
食事を与えない、衣服を不潔なままにする等の養育放棄	3	21.4%
遺棄	6	42.9%
祖父母、交際相手等による虐待を見過ごす	0	0.0%
必要な医療を受けさせない（医療ネグレクト）	3	21.4%

- 心中以外の虐待死事例において死亡時の虐待以外に確認された虐待は、「なし」が 20 人 (39.2%)、「あり」が 9 人 (17.6%) であった。「あり」事例における虐待の種類 (複数回答) は、「身体的虐待」が 4 人、「ネグレクト」が 4 人、「心理的虐待」が 1 人であった。

表 I - 2 - 4 死亡時の虐待以外に確認された虐待の有無 (心中以外の虐待死)
(複数回答)

区分		心中以外の虐待死(51人)		
		人数	構成割合	有効割合
なし		20	39.2%	69.0%
あり		9	17.6%	31.0%
内訳 (再掲) (複数回答)	身体的虐待	4	/	/
	ネグレクト	4		
	心理的虐待	1		
	性的虐待	0		
不明		22	43.1%	/
計		51	100.0%	100.0%

○ 直接死因は、心中以外の虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」、「頸部絞扼以外による窒息」がいずれも8人（有効割合で19.5%）と最も多く、次いで「頭部外傷」が7人（同17.1%）、「火災による熱傷・一酸化炭素中毒」が6人（同14.6%）であった。第7次報告と比較すると、「頭部外傷」が減少した。

心中による虐待死事例では、「頸部絞扼による窒息」が15人（同34.1%）と最も多く、次いで「中毒（火災によるものを除く）」が12人（同27.3%）、「溺水」が7人（同15.9%）であった。第7次報告と比較すると、「中毒（火災によるものを除く）」が増加した。

表 I - 2 - 5 直接死因

区分	平成21年4月から平成22年3月まで						平成22年4月から平成23年3月まで						
	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)			心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
頭部外傷	15	30.6%	35.7%	0	0.0%	0.0%	7	13.7%	17.1%	0	0.0%	0.0%	
胸部外傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	2	4.3%	4.5%	
腹部外傷	0	0.0%	0.0%	1	2.6%	2.8%	2	3.9%	4.9%	2	4.3%	4.5%	
外傷性ショック	1	2.0%	2.4%	2	5.1%	5.6%	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	
頸部絞扼による窒息	4	8.2%	9.5%	13	33.3%	36.1%	8	15.7%	19.5%	15	31.9%	34.1%	
頸部絞扼以外による窒息	4	8.2%	9.5%	1	2.6%	2.8%	8	15.7%	19.5%	0	0.0%	0.0%	
溺水	2	4.1%	4.8%	5	12.8%	13.9%	0	0.0%	0.0%	7	14.9%	15.9%	
熱傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
車中放置による熱中症・脱水	4	8.2%	9.5%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	
中毒(火災によるものを除く)	0	0.0%	0.0%	7	17.9%	19.4%	0	0.0%	0.0%	12	25.5%	27.3%	
出血性ショック	1	2.0%	2.4%	5	12.8%	13.9%	0	0.0%	0.0%	1	2.1%	2.3%	
低栄養による衰弱	3	6.1%	7.1%	0	0.0%	0.0%	2	3.9%	4.9%	0	0.0%	0.0%	
脱水	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
凍死	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	3	6.1%	7.1%	2	5.1%	5.6%	6	11.8%	14.6%	1	2.1%	2.3%	
病死	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	
その他	3	6.1%	7.1%	0	0.0%	0.0%	5	9.8%	12.2%	4	8.5%	9.1%	
内訳 (再掲)	低酸素脳症	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%
	心臓挫傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%
	打撲による頭部損傷又は背部の刺傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%
	刺殺	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%
	飛び降り	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	2	4.3%	4.5%
	出血又は外傷性ショック	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.4%	2	4.3%	4.5%
	路上で息をしない男児を出生、そのまま遺棄	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	衣装ケースに閉じ込める。熱中症が疑われた	1	2.0%	2.4%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	7	14.3%	17.4%	3	7.7%	8.3%	10	19.6%	24.5%	3	6.4%	6.7%	
計	49	100%	100%	39	100%	100%	51	100.0%	100.0%	47	100.0%	100.0%	

- 3歳未満と3歳以上とに区別した心中以外の虐待死事例の直接死因は、3歳未満では、「頭部外傷」、「頸部絞扼以外による窒息」がいずれも7人（有効割合で24.1%）と最も多く、次いで「頸部絞扼による窒息」が5人（同17.2%）、「火災による熱傷・一酸化炭素中毒」が4人（同13.8%）であった。
- 3歳以上では、「その他」が4人（同33.3%）と最も多く、次いで「頸部絞扼による窒息」が3人（同25.0%）、「火災による熱傷・一酸化炭素中毒」が2人（同16.7%）であった。

表 I - 2 - 6 直接死因（3歳未満と3歳以上）（心中以外の虐待死）

区分	3歳未満			3歳以上			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
頭部外傷	7	17.9%	24.1%	0	0.0%	0.0%	
胸部外傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
腹部外傷	2	5.1%	6.9%	0	0.0%	0.0%	
外傷性ショック	1	2.6%	3.4%	0	0.0%	0.0%	
頸部絞扼による窒息	5	12.8%	17.2%	3	25.0%	25.0%	
頸部絞扼以外による窒息	7	17.9%	24.1%	1	8.3%	8.3%	
溺水	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
熱傷	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
車中放置による熱中症・脱水	1	2.6%	3.4%	0	0.0%	0.0%	
中毒（火災によるものを除く）	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
出血性ショック	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
低栄養による衰弱	1	2.6%	3.4%	1	8.3%	8.3%	
脱水	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
凍死	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
火災による熱傷・一酸化炭素中毒	4	10.3%	13.8%	2	16.7%	16.7%	
病死	0	0.0%	0.0%	1	8.3%	8.3%	
その他	1	2.6%	3.4%	4	33.3%	33.3%	
内訳 （再掲）	低酸素脳症	0	0.0%	0.0%	1	8.3%	8.3%
	心臓挫傷	0	0.0%	0.0%	1	8.3%	8.3%
	打撲による頭部損傷又は背部の刺傷	0	0.0%	0.0%	1	8.3%	8.3%
	刺殺	0	0.0%	0.0%	1	8.3%	8.3%
	出血又は外傷性ショック	1	2.6%	3.4%	0	0.0%	0.0%
不明	10	25.6%		0	0.0%		
計	39	100.0%	100.0%	12	100.0%	100.0%	

○ 主たる加害者は、心中以外の虐待死事例では、「実母」が 30 人 (58.8%) で最も多く、次いで「実父」が 7 人 (13.7%)、「母の交際相手」が 4 人 (7.8%) であった。

心中による虐待死事例では、「実母」が 33 人 (70.2%) で最も多く、次いで「実父」が 11 人 (23.4%) であった。

表 I-2-7 主たる加害者

区分	平成21年4月から平成22年3月まで						平成22年4月から平成23年3月まで						
	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)			
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合	
実母	23	46.9%	48.9%	22	56.4%	56.4%	30	58.8%	58.8%	33	70.2%	71.7%	
実父	6	12.2%	12.8%	14	35.9%	35.9%	7	13.7%	13.7%	11	23.4%	23.9%	
養母	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
養父	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	3	5.9%	5.9%	0	0.0%	0.0%	
継母	2	4.1%	4.3%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
継父	2	4.1%	4.3%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.0%	0	0.0%	0.0%	
実母の交際相手	2	4.1%	4.3%	0	0.0%	0.0%	4	7.8%	7.8%	0	0.0%	0.0%	
実父の交際相手	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
母方祖母	0	0.0%	0.0%	1	2.6%	2.6%	0	0.0%	0.0%	1	2.1%	2.2%	
母方祖父	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
父方祖母	0	0.0%	0.0%	1	2.6%	2.6%	0	0.0%	0.0%	1	2.1%	2.2%	
父方祖父	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	
その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	2	3.9%	3.9%	0	0.0%	0.0%	
実母と	実父	6	12.2%	12.8%	1	2.6%	2.6%	2	3.9%	3.9%	0	0.0%	0.0%
	継父	1	2.0%	2.1%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	養父	1	2.0%	2.1%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.0%	0	0.0%	0.0%
	実母の交際相手	4	8.2%	8.5%	0	0.0%	0.0%	1	2.0%	2.0%	0	0.0%	0.0%
不明	2	4.1%	/	0	0.0%	/	0	0.0%	/	1	2.1%	/	
計	49	100%	100%	39	100%	100%	51	100.0%	100.0%	47	100.0%	100.0%	

- 3歳未満と3歳以上とで区別した心中以外の虐待死事例の主たる加害者は、心中以外の虐待死事例では、3歳未満で「実母」が24人（61.5%）と最も多く、次いで「実父」が6人（15.4%）であった。3歳以上では「実母」が6人（50.0%）と最も多かった。

表 I - 2 - 8 主たる加害者（3歳未満と3歳以上）（心中以外の虐待死）

区分		3歳未満			3歳以上		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
実母		24	61.5%	61.5%	6	50.0%	50.0%
実父		6	15.4%	15.4%	1	8.3%	8.3%
養母		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
養父		2	5.1%	5.1%	1	8.3%	8.3%
継母		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
継父		0	0.0%	0.0%	1	8.3%	8.3%
実母の交際相手		4	10.3%	10.3%	0	0.0%	0.0%
実父の交際相手		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母方祖母		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母方祖父		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
父方祖母		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
父方祖父		0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他		0	0.0%	0.0%	2	16.7%	16.7%
実母と	実父	1	2.6%	2.6%	1	8.3%	8.3%
	継父	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	養父	1	2.6%	2.6%	0	0.0%	0.0%
	実母の交際相手	1	2.6%	2.6%	0	0.0%	0.0%
不明		0	0.0%		0	0.0%	
計		39	100.0%	100.0%	12	100.0%	100.0%

- 年齢別に主たる加害者をみると、心中以外の虐待死事例では、1歳未満までは加害者が「実母」である割合が高く、1歳以上になると、「実母」以外の養育者の割合が増えていた。

表 I-2-9 主たる加害者と死亡した子どもの年齢（心中以外の虐待死）

区分	死亡した児童の年齢												
	0日		1日～1か月未満		1か月～1歳未満		1歳以上～3歳未満		3歳以上		不明		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	9	100.0%	2	100.0%	5	50.0%	6	37.5%	6	50.0%	2	100.0%	
実父	0	0.0%	0	0.0%	4	40.0%	2	12.5%	1	8.3%	0	0.0%	
養母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
養父	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	6.3%	1	8.3%	0	0.0%	
継母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
継父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	8.3%	0	0.0%	
実母の交際相手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	4	25.0%	0	0.0%	0	0.0%	
実父の交際相手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
母方祖母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
父方祖母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
母方祖父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
父方祖父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	16.7%	0	0.0%	
実母と	実父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	1	8.3%	0	0.0%
	養父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	養父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
	母の交際相手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	6.3%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
計	9	100.0%	2	100.0%	10	100.0%	16	100.0%	12	100.0%	2	100.0%	

- 心中による虐待死事例では、6歳未満までは加害者が「実母」である割合が最も高いが、6歳以上になると、「実母」が15人(57.7%)、「実父」が8人(30.8%)となっていた。

表 I-2-10 主たる加害者と死亡した子どもの年齢（心中による虐待死）

区分	死亡した児童の年齢										
	1か月未満		1か月～1歳未満		1歳以上～3歳未満		3歳以上～6歳未満		6歳以上		
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	
実母	2	100.0%	1	100.0%	7	87.5%	8	80.0%	15	57.7%	
実父	0	0.0%	0	0.0%	1	12.5%	2	20.0%	8	30.8%	
養母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
養父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
継母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
継父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
実母の交際相手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
実父の交際相手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
母方祖母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	
父方祖母	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
母方祖父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	
父方祖父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
その他	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	
実母と	実父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	養父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	養父	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
	母の交際相手	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	3.8%	
計	2	100.0%	1	100.0%	8	100.0%	10	100.0%	26	100.0%	

- 心中以外の虐待死事例の加害の動機は、「保護を怠ったことによる死亡」が11人(有効割合で35.5%)と最も多く、次いで、「その他」が7人(同22.6%)、「泣きやまないことにいらだったため」が6人(同19.4%)であった。

表 I - 2 - 1 1 加害の動機 (心中以外の虐待死)

区分	心中以外の虐待死		
	人数	構成割合	有効割合
しつけのつもり	3	5.9%	9.7%
子どもがなつかない	0	0.0%	0.0%
パートナーへの愛情を独占された等、子どもに対する嫉妬心	0	0.0%	0.0%
パートナーへの怒りを子どもに向ける	0	0.0%	0.0%
慢性の疾患等の苦しみから子どもを救おうという主観的意図	0	0.0%	0.0%
子どもの暴力などから身を守るため	0	0.0%	0.0%
MSBP(代理ミュンヒハウゼン氏症候群)	0	0.0%	0.0%
保護を怠ったことによる死亡	11	21.6%	35.5%
子どもの存在の拒否・否定	2	3.9%	6.5%
泣きやまないことにいらだったため	6	11.8%	19.4%
アルコール又は薬物依存に起因した精神症状による行為	0	0.0%	0.0%
精神症状による行為(妄想など)	2	3.9%	6.5%
その他	7	13.7%	22.6%
不明	20	39.2%	
計	51	100.0%	100.0%

- 3歳未満と3歳以上とで区別した心中以外の虐待死事例の加害の動機は、3歳未満では、「保護を怠ったことによる死亡」が7人（有効割合で31.8%）と最も多く、次いで「泣きやまないことにいらだったため」が6人（同27.3%）であった。3歳以上では、「保護を怠ったことによる死亡」、「その他」がそれぞれ4人（同44.4%）と最も多かった。

表 I - 2 - 1 2 加害の動機（3歳未満と3歳以上）（心中以外の虐待死）

区分	3歳未満			3歳以上		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
しつけのつもり	2	5.1%	9.1%	1	8.3%	11.1%
子どもがなつかない	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
パートナーへの愛情を独占された等、子どもに対する嫉妬心	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
パートナーへの怒りを子どもに向ける	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
慢性の疾患等の苦しみから子どもを救おうという主観的意図	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
子どもの暴力などから身を守るため	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
MSBP（代理ミュンヒハウゼン氏症候群）	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
保護を怠ったことによる死亡	7	17.9%	31.8%	4	33.3%	44.4%
子どもの存在の拒否・否定	2	5.1%	9.1%	0	0.0%	0.0%
泣きやまないことにいらだったため	6	15.4%	27.3%	0	0.0%	0.0%
アルコール又は薬物依存に起因した精神症状による行為	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
精神症状による行為（妄想など）	2	5.1%	9.1%	0	0.0%	0.0%
その他	3	7.7%	13.6%	4	33.3%	44.4%
不明	17	43.6%		3	25.0%	
計	39	100.0%	100.0%	12	100.0%	100.0%

○心中による虐待死事例の加害の動機（複数回答）は、「保護者自身の精神疾患、精神不安」が21人（44.7%）と最も多く、次いで「育児不安や育児負担感」、「夫婦間のトラブルなど家庭の不和」がそれぞれ8人（17.0%）であった。

表 I-2-13 加害の動機（心中による虐待死）（複数回答）

区分	心中による虐待死 (47人)	
	人数	構成割合
子供の病気・障害(診断)	7	14.9%
保護者自身の病気・障害等	3	6.4%
保護者自身の精神疾患、精神不安	21	44.7%
経済的困窮	7	14.9%
育児不安や育児負担感	8	17.0%
夫婦間のトラブルなどの家庭の不和	8	17.0%
不明	15	31.9%

3 死亡した子どもの成育歴

- 心中以外の虐待死事例の妊娠期・周産期の問題（複数回答）は、「若年（10代）妊娠」が14人（27.5%）と最も多く、次いで「妊婦健診未受診」が11人（21.6%）、「望まない妊娠／計画していない妊娠」が10人（19.6%）であった。

心中による虐待死事例では、明確な特徴はみられなかった。

表 I-3-1 妊娠期・周産期の問題（複数回答）

区分	心中以外の虐待死						心中による虐待死(未遂を含む)					
	人数(構成割合/51人)						人数(構成割合/47人)					
	あり		なし		不明		あり		なし		不明	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
切迫流産・切迫早産	4	7.8%	19	37.3%	28	54.9%	2	4.3%	15	31.9%	30	63.8%
妊娠高血圧症候群(妊娠中毒症)	2	3.9%	21	41.2%	28	54.9%	1	2.1%	16	34.0%	30	63.8%
喫煙の常習	7	13.7%	8	15.7%	36	70.6%	1	2.1%	10	21.3%	36	76.6%
アルコールの常習	1	2.0%	12	23.5%	38	74.5%	1	2.1%	12	25.5%	34	72.3%
マタニティブルー	0	0.0%	9	17.6%	42	82.4%	0	0.0%	11	23.4%	36	76.6%
望まない妊娠／計画していない妊娠	10	19.6%	8	15.7%	33	64.7%	1	2.1%	11	23.4%	35	74.5%
若年(10代)妊娠	14	27.5%	21	41.2%	16	31.4%	2	4.3%	27	57.4%	18	38.3%
母子健康手帳の未発行	9	17.6%	24	47.1%	18	35.3%	0	0.0%	27	57.4%	20	42.6%
妊婦健康診査未受診	11	21.6%	16	31.4%	24	47.1%	0	0.0%	26	55.3%	21	44.7%
性感染症・肝炎ウイルスの感染	0	0.0%	10	19.6%	41	80.4%	0	0.0%	15	31.9%	32	68.1%
胎児虐待	5	9.8%	11	21.6%	35	68.6%	0	0.0%	15	31.9%	32	68.1%
墜落分娩	2	3.9%	26	51.0%	23	45.1%	0	0.0%	23	48.9%	24	51.1%
陣痛が微弱であった	0	0.0%	18	35.3%	33	64.7%	0	0.0%	17	36.2%	30	63.8%
帝王切開	7	13.7%	25	49.0%	19	37.3%	3	6.4%	19	40.4%	25	53.2%
救急車で来院	0	0.0%	24	47.1%	27	52.9%	0	0.0%	19	40.4%	28	59.6%
低体重	7	13.7%	22	43.1%	22	43.1%	4	8.5%	23	48.9%	20	42.6%
多胎	3	5.9%	31	60.8%	17	33.3%	0	0.0%	27	57.4%	20	42.6%
新生児仮死	0	0.0%	28	54.9%	23	45.1%	1	2.1%	21	44.7%	25	53.2%
その他の疾患・障害	0	0.0%	28	54.9%	23	45.1%	2	4.3%	22	46.8%	23	48.9%
出生時の退院の遅れによる母子分離	3	5.9%	29	56.9%	19	37.3%	3	6.4%	18	38.3%	26	55.3%
NICU入院	1	2.0%	30	58.8%	20	39.2%	3	6.4%	23	48.9%	21	44.7%

- 心中以外の虐待死事例における「望まない妊娠／計画していない妊娠」のうち、「母子健康手帳の未発行」、「妊婦健診未受診」について、死亡した子どもの年齢ごとにみると、日齢0日児事例では、「母子健康手帳の未発行」と「妊婦健診未受診」の両方あるものが6人（66.7%）であった。

表 I - 3 - 2 望まない妊娠と関連する妊娠期・周産期の問題（心中以外の虐待死）

区分	望まない妊娠の内訳									
	死亡した児童の年齢(心中以外の虐待死)									
	0日		1日～1か月未満		1か月～1歳未満		1歳以上		不明	
	人数(構成割合/9人)		人数(構成割合/2人)		人数(構成割合/10人)		人数(構成割合/28人)		人数(構成割合/2人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
母子健康手帳の未発行・妊婦健診未受診	6	66.7%	1	50.0%	0	0.0%	0	0.0%	2	100.0%
母子健康手帳の未発行・妊婦健診受診	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
母子健康手帳の発行・妊婦健診未受診	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	1	3.6%	0	0.0%
母子健康手帳の発行・妊婦健診受診	0	0.0%	1	50.0%	7	70.0%	8	28.6%	0	0.0%
母子健康手帳の未発行・妊婦健診受診不明	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
母子健康手帳の発行不明・妊婦健診受診不明	3	33.3%	0	0.0%	1	10.0%	14	50.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	0	0.0%	1	10.0%	5	17.9%	0	0.0%

- 子どもの疾患・障害等（複数回答）について、心中以外の虐待死事例では、51人中4人（7.8%）にいずれかの疾患・障害等がみられた。内訳は、「知的発達の遅れ」が2人（3.9%）、「身体障害」、「身体発育の遅れ」がそれぞれ1人（2.0%）であった。

心中による虐待死事例では、47人中9人（19.1%）にいずれかの疾患・障害等がみられた。内訳は、「身体疾患」、「知的発達の遅れ」がそれぞれ4人（8.5%）、「身体障害」、「身体発育の遅れ」がそれぞれ1人（2.1%）であった。

表 I-3-3 子どもの疾患・障害等（複数回答）

区分	心中以外の虐待死(51人)						心中による虐待死(未遂を含む)(47人)					
	あり		なし		不明		あり		なし		不明	
	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合	人数	構成割合
身体疾患	0	0.0%	29	56.9%	22	43.1%	4	8.5%	22	46.8%	21	44.7%
身体障害	1	2.0%	28	54.9%	22	43.1%	1	2.1%	26	55.3%	20	42.6%
知的発達遅れ ^{注B)}	2	3.9%	27	52.9%	22	43.1%	4	8.5%	24	51.1%	19	40.4%
身体発育の遅れ (極端な痩せ、身長が低いなど)	1	2.0%	33	64.7%	17	33.3%	1	2.1%	30	63.8%	16	34.0%

○ 心中以外の虐待死事例のうち子どもに疾患・障害等があった事例における関係機関の関与においては、すべての事例で疾患・障害等の内容に関係なく、何らかの機関が関与していた。

表 I-3-4 子どもの疾患・障害等と事例に関与した関係機関（心中以外の虐待死）（複数回答）

区分	子どもの疾患・障害等									
	心中以外の虐待死				心中による虐待死(未遂含む)					
	身体疾患(0)	身体障害(1)	知的発達遅れ(2)	身体発育の遅れ (極端な痩せ、 身長が低いなど) (1)	身体疾患(4)	身体障害(1)	知的発達遅れ(4)	身体発育の遅れ (極端な痩せ、 身長が低いなど) (1)		
※()内は疾患・障害等のある子どもの数										
何らかの機関の関与があった子どもの数										
関与した関係機関(例数)	児童相談所	0	1	2	1	4	1	4	1	
	市町村(児童福祉担当部署)	0	1	2	0	1	1	1	1	
	その他機関	0	1	2	1	2	1	4	1	
	内訳(再掲) (複数回答)	福祉事務所	0	0	0	1	1	1	2	1
	家庭児童相談室	0	0	0	0	1	0	2	0	
	児童委員	0	0	1	0	0	0	0	0	
	保健所	0	0	0	0	1	0	0	0	
	市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	0	0	2	1	1	1	3	1	
	養育機関・教育機関の関与	0	0	1	0	1	1	3	1	
	医療機関	0	1	1	0	1	1	0	1	
	助産師 (医療機関に勤務する者を除く)	0	0	0	0	0	0	1	0	
	警察	0	0	1	0	1	0	0	0	
	婦人相談所	0	0	0	0	0	0	0	0	

○ 情緒・行動上の問題等（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では、「なし」が21人（有効割合で80.8%）、「あり」が5人（同19.2%）であった。「あり」の内訳は、「夜泣き」が3人、「激しい泣き」が2人であった。

心中による虐待死事例では、「なし」が20人（同80.0%）、「あり」が5人（同20%）であった。「あり」の内訳は、「多動」、「指示に従わない」がそれぞれ2人だった。「その他」には、極端な偏食といった問題があった。

表 I - 3 - 5 情緒・行動上の問題等（複数回答）

区分		心中以外の虐待死(51人)			心中による虐待死(未遂を含む)(47人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		21	41.2%	80.8%	20	42.6%	80.0%
あり		5	9.8%	19.2%	5	10.6%	20.0%
内訳 (再掲) (複数回答)	ミルクの飲みムラ	0			0		
	激しい泣き	2			0		
	夜泣き	3			0		
	食事の拒否	0			0		
	夜尿	0			1		
	多動	0			2		
	衝動性	0			0		
	かんしゃく	1			1		
	自傷行為	0			0		
	性器いじり	0			0		
	指示に従わない	1			2		
	なつかない	0			0		
	無表情、表情が乏しい	1			0		
	固まってしまう	0			0		
	盗癖	0			0		
	虚言癖	0			0		
	不登校	0			0		
	その他	1			3		
不明		25	49.0%		22	46.8%	
計		51	100.0%	100.0%	47	100.0%	100.0%

- 乳幼児健康診査の状況（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では、「3～4か月児健診」で2人（有効割合で8.7%）、「1歳6か月児健診」で8人（同47.1%）、「3歳児健診」で3人（同37.5%）がそれぞれ未受診であると確認された。

心中による虐待死事例では、「3～4か月児健診」の未受診は確認されなかったが、「1歳6か月児健診」で2人（同6.9%）、「3歳児健診」で4人（同17.4%）の未受診が確認された。

- 予防接種の状況（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では、「BCG・ツベルクリン」で2人（有効割合で9.5%）、「ポリオ」で8人（同36.4%）、「ジフテリア・百日せき・破傷風（3種混合）」で4人（同17.4%）、「麻疹」で7人（同46.7%）、「風疹」で8人（同53.3%）が未接種であった。

心中による虐待死事例では、「ジフテリア・百日せき・破傷風（3種混合）」で1人（同3.8%）、「風疹」で1人（同3.8%）がそれぞれ未接種だった。

表 I - 3 - 6 乳幼児健康診査および予防接種

区分	心中以外の虐待死						心中による虐待死(未遂を含む)					
	人数(有効割合/51人)						人数(有効割合/47人)					
	受診済み		未受診		年齢的に 非該当	不明	受診済み		未受診		年齢的に 非該当	不明
	人数	有効割合	人数	有効割合			人数	有効割合	人数	有効割合		
3～4か月児健診	21	91.3%	2	8.7%	16	12	31	100.0%	0	0.0%	3	13
1歳6か月児健診	9	52.9%	8	47.1%	27	7	27	93.1%	2	6.9%	5	13
3歳児健診	5	62.5%	3	37.5%	38	5	19	82.6%	4	17.4%	11	13
BCG・ツベルクリン	19	90.5%	2	9.5%	15	15	27	100.0%	0	0.0%	3	17
ポリオ	14	63.6%	8	36.4%	16	13	27	100.0%	0	0.0%	3	17
ジフテリア・百日せき・破傷風 (3種混合)	19	82.6%	4	17.4%	15	13	25	96.2%	1	3.8%	3	18
麻疹	8	53.3%	7	46.7%	20	16	26	100.0%	0	0.0%	4	17
風疹	7	46.7%	8	53.3%	20	16	25	96.2%	1	3.8%	4	17

○ 養育機関・教育機関等への所属は、心中以外の虐待死事例では、「なし」が35人（有効割合で79.5%）、「あり」が9人（同20.5%）であった。「あり」の内訳は、「保育所」が5人（同11.4%）、「幼稚園」が1人（同2.3%）、「小学校」が2人（同4.5%）であった。

心中による虐待死事例では、「なし」が11人（同23.9%）、「あり」が35人（同76.1%）であった。「あり」の内訳は、「保育所」が9人（同19.6%）、「幼稚園」が2人（同4.3%）、「小学校」が19人（同41.3%）、「中学校」が1人（同2.2%）、「高校」が2人（同4.3%）であった。

表 I - 3 - 7 養育機関・教育機関等への所属

区分		心中以外の虐待死(51人)			心中による虐待死(未遂を含む)(47人)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし		35	68.6%	79.5%	11	23.4%	23.9%
あり		9	17.6%	20.5%	35	74.5%	76.1%
内訳 (再掲)	保育所	5	9.8%	11.4%	9	19.1%	19.6%
	幼稚園	1	2.0%	2.3%	2	4.3%	4.3%
	小学校	2	3.9%	4.5%	19	40.4%	41.3%
	中学校	0	0.0%	0.0%	1	2.1%	2.2%
	高校	0	0.0%	0.0%	2	4.3%	4.3%
	その他	1	2.0%	2.3%	2	4.3%	4.3%
不明		7	13.7%		1	2.1%	
計		51	100.0%	100.0%	47	100.0%	100.0%

4 養育環境

- 養育者の状況（家族形態）は、心中以外の虐待死事例では、「実父母」が17例（有効割合で42.5%）と最も多く、次いで、「一人親（離婚）」が7例（同17.5%）であった。「一人親」は、離婚・未婚・死別・別居合わせて12例（同30.0%）であった。

心中による虐待死事例では、「実父母」が18例（同52.9%）と最も多く、次いで、「一人親（離婚）」が7例（同20.6%）であった。「一人親」が離婚・未婚・死別・別居合わせて12例（35.3%）であった。

表 I-4-1 養育者の状況（家族形態）

区分	心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死(未遂含む)(37例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
実父母	17	37.8%	42.5%	18	48.6%	52.9%
一人親(離婚)	7	15.6%	17.5%	7	18.9%	20.6%
一人親(未婚)	4	8.9%	10.0%	0	0.0%	0.0%
一人親(死別)	0	0.0%	0.0%	1	2.7%	2.9%
一人親(別居)	1	2.2%	2.5%	4	10.8%	11.8%
内縁関係	6	13.3%	15.0%	0	0.0%	0.0%
再婚	3	6.7%	7.5%	0	0.0%	0.0%
養父母	0	0.0%	0.0%	2	5.4%	5.9%
その他	2	4.4%	5.0%	2	5.4%	5.9%
不明	5	11.1%		3	8.1%	
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

- 祖父母の同居状況は、心中以外の虐待死事例では、「なし」が31例（有効割合で79.5%）、「あり」が8例（同20.5%）であり、「あり」の内訳は「母方祖父母同居」が4例（同10.3%）であった。

心中による虐待死事例では、「なし」が26例（同78.8%）、「あり」が7例（同21.2%）であり、「あり」の内訳は、「母方祖母同居」が3例（同9.1%）であった。

表 I - 4 - 2 祖父母の同居状況

区分		心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死(未遂を含む)(37例)		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		31	68.9%	79.5%	26	70.3%	78.8%
あり		8	17.8%	20.5%	7	18.9%	21.2%
内訳 (再掲)	母方祖母同居	2	4.4%	5.1%	3	8.1%	9.1%
	母方祖父同居	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	母方祖父母同居	4	8.9%	10.3%	2	5.4%	6.1%
	父方祖母同居	1	2.2%	2.6%	0	0.0%	0.0%
	父方祖父同居	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	父方祖父母同居	1	2.2%	2.6%	2	5.4%	6.1%
不明		6	13.3%		4	10.8%	
計		45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

- 実父母、祖父母以外の者との同居状況は、心中以外の虐待死事例では、「なし」が30例（有効割合で78.9%）、「あり」が8例（同21.1%）であった。その内訳は、「その他」が4例（同10.5%）、「母の交際相手」が3例（同7.9%）であった。「その他」には、父母のきょうだいや曾祖母等であった。
- 心中による虐待死事例では、「なし」が30例（同90.9%）、「あり」が3例（同9.1%）であった。「あり」の内訳は、「その他」が3例で、曾祖母、父母のきょうだいであった。

表 I - 4 - 3 実父母、祖父母以外の者の同居状況

区分		心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死(未遂を含む)(37例)		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		30	66.7%	78.9%	30	81.1%	90.9%
あり		8	17.8%	21.1%	3	8.1%	9.1%
内訳 (再掲)	母の交際相手	3	6.7%	7.9%	0	0.0%	0.0%
	父の交際相手	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	母の友人	1	2.2%	2.6%	0	0.0%	0.0%
	父の友人	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	その他	4	8.9%	10.5%	3	8.1%	9.1%
不明		7	15.6%		4	10.8%	
計		45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

- 本児死亡時の実母・実父の年齢は、心中以外の虐待死事例では、実母の年齢階級は「35歳～39歳」が10例（有効割合で22.7%）と最も多く、次いで「20歳～24歳」、「25～29歳」がそれぞれ9例（同20.5%）であった。実父の年齢階級は、「40歳以上」が8例（同22.2%）と最も多く、次いで「30歳～34歳」が7例（同19.4%）であった。

心中による虐待死事例では、実母の年齢階級は、「30歳～34歳」が11例（同31.4%）と最も多く、次いで「35歳～39歳」が9例（同25.7%）であった。実父の年齢階級は、「40歳以上」が11例（同31.4%）と最も多く、次いで「30歳～34歳」が9例（同25.7%）であった。

表 I - 4 - 4 本児死亡時の実母・実父の年齢

区分	心中以外の虐待死(45例)						心中による虐待死(未遂を含む)(37例)						
	実母			実父			実母			実父			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
いない	0	0.0%	0.0%	4	8.9%	11.1%	1	2.7%	2.9%	4	10.8%	11.4%	
いる	44	97.8%	100.0%	32	71.1%	88.9%	34	91.9%	97.1%	31	83.8%	88.6%	
内訳 (再掲)	19歳以下	6	13.3%	13.6%	2	4.4%	5.6%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	20歳～24歳	9	20.0%	20.5%	3	6.7%	8.3%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	25歳～29歳	9	20.0%	20.5%	5	11.1%	13.9%	4	10.8%	11.4%	2	5.4%	5.7%
	30歳～34歳	5	11.1%	11.4%	7	15.6%	19.4%	11	29.7%	31.4%	9	24.3%	25.7%
	35歳～39歳	10	22.2%	22.7%	4	8.9%	11.1%	9	24.3%	25.7%	7	18.9%	20.0%
	40歳以上	3	6.7%	6.8%	8	17.8%	22.2%	8	21.6%	22.9%	11	29.7%	31.4%
	年齢不明	2	4.4%	4.5%	3	6.7%	8.3%	2	5.4%	5.7%	2	5.4%	5.7%
不明	1	2.2%	/	9	20.0%	/	2	5.4%	/	2	5.4%	/	
計	45	100.0%	100.0%	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%	

- 本児死亡時の加害者の年齢は、心中以外の虐待死事例では、加害者が実母である場合、実母の年齢階級は「35歳～39歳」が8例（25.8%）と最も多く、加害者が実父である場合、実父の年齢階級は「30歳～34歳」が3例（50.0%）と最も多かった。

心中による虐待死事例では、加害者が実母である場合、実母の年齢階級は「35歳～39歳」が9例（33.3%）と最も多く、加害者が実父である場合、実父の年齢階級は、「25歳～29歳」、「30歳～34歳」、「40歳以上」がそれぞれ2例（28.6%）であった。

表 I - 4 - 5 加害者の年齢

区分	心中以外の虐待死									心中による虐待死(未遂を含む)									
	実母(31例)			実父(6例)			実父母以外加害者(45例)			実母(27例)			実父(7例)			実父母以外加害者(37例)			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
いない	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	26	57.8%	70.3%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	30	81.1%	93.8%	
いる	31	100.0%	100.0%	6	100.0%	100.0%	11	24.4%	29.7%	27	100.0%	100.0%	6	85.7%	100.0%	2	5.4%	6.3%	
内訳 (再掲)	19歳以下	5	16.1%	16.1%	1	16.7%	16.7%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	20歳~24歳	5	16.1%	16.1%	0	0.0%	0.0%	5	11.1%	13.5%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	25歳~29歳	4	12.9%	12.9%	1	16.7%	16.7%	2	4.4%	5.4%	4	14.8%	14.8%	2	28.6%	33.3%	0	0.0%	0.0%
	30歳~34歳	5	16.1%	16.1%	3	50.0%	50.0%	2	4.4%	5.4%	7	25.9%	25.9%	2	28.6%	33.3%	0	0.0%	0.0%
	35歳~39歳	8	25.8%	25.8%	0	0.0%	0.0%	1	2.2%	2.7%	9	33.3%	33.3%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	40歳以上	2	6.5%	6.5%	1	16.7%	16.7%	1	2.2%	2.7%	7	25.9%	25.9%	2	28.6%	33.3%	2	5.4%	6.3%
	年齢不明	2	6.5%	6.5%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	0	0.0%	/	0	0.0%	/	8	17.8%	/	0	0.0%	/	1	14.3%	/	5	13.5%	/	
計	31	100.0%	100.0%	6	100.0%	100.0%	45	100.0%	100.0%	27	100.0%	100.0%	7	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%	

○ 家計を支えている主たる者は、心中以外の虐待死事例では、「実父」が 11 例（有効割合で 36.7%）、「実母」が 6 例（同 20.0%）であった。

心中による虐待死事例では、「実父」が 16 例（同 55.2%）、「実母」が 6 例（同 20.7%）であった。

表 I - 4 - 6 家計を支えている主たる者

区分	心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死(未遂を含む)(37例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
実母	6	13.3%	20.0%	6	16.2%	20.7%
実父	11	24.4%	36.7%	16	43.2%	55.2%
継母	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
継父	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
養母	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
養父	4	8.9%	13.3%	2	5.4%	6.9%
母方祖母	1	2.2%	3.3%	2	5.4%	6.9%
母方祖父	2	4.4%	6.7%	0	0.0%	0.0%
父方祖母	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
父方祖父	1	2.2%	3.3%	0	0.0%	0.0%
母の交際相手	1	2.2%	3.3%	0	0.0%	0.0%
父の交際相手	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他	4	8.9%	13.3%	3	8.1%	10.3%
不明	15	33.3%	/	8	21.6%	/
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

○ 住宅の状況は、心中以外の虐待死事例では、「集合住宅（賃貸）」が 20 例（有効割合で 60.6%）で最も多く、次いで、「一戸建て住宅（所有）」が 7 例（同 21.2%）であった。

心中による虐待死事例では、「集合住宅（賃貸）」が 11 例（同 37.9%）で最も多く、次いで、「一戸建て住宅（所有）」が 10 例（同 34.5%）であった。

表 I-4-7 住宅の状況

区分	心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死 (未遂を含む)(37例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
一戸建て住宅(所有)	7	15.6%	21.2%	10	27.0%	34.5%
一戸建て住宅(賃貸)	2	4.4%	6.1%	2	5.4%	6.9%
集合住宅(所有)	3	6.7%	9.1%	3	8.1%	10.3%
集合住宅(賃貸)	20	44.4%	60.6%	11	29.7%	37.9%
公営住宅	1	2.2%	3.0%	3	8.1%	10.3%
他人の家に同居	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
母子生活支援施設	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
シェルター	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
定住地なし	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明	12	26.7%		8	21.6%	
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

○ 家族の経済状況は、不明が半数以上を占めるが、心中以外の虐待死事例では、「市町村民税非課税世帯（所得割、均等割ともに非課税）」が 6 例（有効割合で 37.5%）と最も多く、次いで「市町村民税課税世帯（年収 500 万円未満）」が 5 例（同 31.3%）であった。

心中による虐待死事例では、「市町村民税課税世帯（年収 500 万円未満）」が 6 例（同 35.3%）と最も多く、次いで「年収 500 万円以上」が 5 例（同 29.4%）であった。

表 I - 4 - 8 家族の経済状況

区分	心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死(未遂を含む)(37例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
生活保護世帯	4	8.9%	25.0%	1	2.7%	5.9%
市町村民税非課税世帯 (所得割、均等割ともに非課税)	6	13.3%	37.5%	3	8.1%	17.6%
市町村民全課税世帯 (所得割のみ非課税)	0	0.0%	0.0%	2	5.4%	11.8%
市町村民税課税世帯 (年収500万円未満)	5	11.1%	31.3%	6	16.2%	35.3%
年収500万円以上	1	2.2%	6.3%	5	13.5%	29.4%
不明	29	64.4%		20	54.1%	
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

○ 本児死亡時の実母・実父の就業状況は、心中以外の虐待死事例では、実母の就業状況は「無職」が21例（有効割合で67.7%）と最も多く、次いで「パート」が9例（同29.0%）であった。実父の就業状況は「フルタイム」が15例（同71.4%）と最も多く、次いで「無職」が6例（同28.6%）であった。

心中による虐待死事例では、実母の就業状況は「無職」が16例（同69.6%）と最も多く、次いで「パート」が5例（同21.7%）であった。実父の就業状況は「フルタイム」が20例（同90.9%）と最も多く、「無職」が2例（同9.1%）であった。

表 I - 4 - 9 本児死亡時の実母・実父の就業状況

区分	心中以外の虐待死						心中による虐待死(未遂を含む)					
	実母			実父			実母			実父		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
無職	21	47.7%	67.7%	6	18.8%	28.6%	16	47.1%	69.6%	2	6.5%	9.1%
フルタイム	1	2.3%	3.2%	15	46.9%	71.4%	2	5.9%	8.7%	20	64.5%	90.9%
パート	9	20.5%	29.0%	0	0.0%	0.0%	5	14.7%	21.7%	0	0.0%	0.0%
不明	13	29.5%		11	34.4%		11	32.4%		9	29.0%	
計	44	100.0%	100.0%	32	100.0%	100.0%	34	100.0%	100.0%	31	100.0%	100.0%

○ 死亡した子どもが出生してからの転居回数は、心中以外の虐待死事例では、「なし」が18例（有効割合で54.5%）で半数以上を占め、次いで「1回」が7例（同21.2%）であった。

心中による虐待死事例では、「なし」が12例（同48.0%）と約半数を占め、次いで「1回」が10例（同40.0%）であった。

表 I-4-10 死亡した子どもが出生してからの転居回数

区分	心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死(未遂を含む)(37例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし	18	40.0%	54.5%	12	32.4%	48.0%
1回	7	15.6%	21.2%	10	27.0%	40.0%
2回	6	13.3%	18.2%	0	0.0%	0.0%
3回	1	2.2%	3.0%	2	5.4%	8.0%
4回	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
5回以上	1	2.2%	3.0%	1	2.7%	4.0%
不明	12	26.7%		12	32.4%	
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

○ 地域社会との接触は、心中以外の虐待死事例では、「ほとんど無い」が11例（有効割合で45.8%）、「ふつう」が9例（同37.5%）であった。

心中による虐待死事例では、「ふつう」が12例（同60.0%）、「ほとんど無い」が5例（同25.0%）であった。

表 I-4-11 家庭の地域社会との接触

区分	心中以外の虐待死(45例)			心中による虐待死(未遂を含む)(37例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
ほとんど無い	11	24.4%	45.8%	5	13.5%	25.0%
乏しい	4	8.9%	16.7%	2	5.4%	10.0%
ふつう	9	20.0%	37.5%	12	32.4%	60.0%
活発	0	0.0%	0.0%	1	2.7%	5.0%
不明	21	46.7%		17	45.9%	
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

○ 養育を支援してくれた人（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では、実母の場合、「配偶者」が 15 例と最も多く、次いで「親」、「行政の相談担当課」が 13 例、「配偶者の親」が 6 例であった。また、実父の場合は、「配偶者」が 8 例と最も多く、次いで「親」が 6 例、「行政の相談担当課」が 5 例であった。

心中による虐待死事例では、実母の場合、「親」が 9 例と最も多く、次いで「配偶者」が 6 例であった。また、実父の場合は、「親」が 3 例であった。

表 I-4-12 養育を支援してくれた人（複数回答）

区分		心中以外の虐待死				心中による虐待死(未遂を含む)			
		実母(44例)		実父(32例)		実母(34例)		実父(31例)	
		例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
なし		5	11.4%	5	15.6%	2	5.9%	4	12.9%
あり		25	56.8%	13	40.6%	13	38.2%	6	19.4%
内訳 (再掲) (複数回答)	配偶者	15		8		6		2	
	親	13		6		9		3	
	配偶者の親	6		4		3		2	
	虐待者のきょうだい	4		1		5		1	
	配偶者のきょうだい	0		0		0		1	
	近所の人	0		0		0		0	
	職場の友人・知人	0		0		2		2	
	保育所などの職員	5		1		4		2	
	ベビーシッター	0		1		0		0	
	行政の相談担当課	13		5		4		0	
	職場以外の友人	2		1		1		1	
	子育てサークル	1		1		0		0	
	親類	1		1		3		1	
	その他	3		0		2		0	
不明		14	31.8%	14	43.8%	19	55.9%	21	67.7%
計		44	100.0%	32	100.0%	34	100.0%	31	100.0%

○ 子育て支援事業の利用（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では、「なし」が 23 例（51.1%）、「あり」が 11 例（24.4%）であり、「あり」のうち、「保育所入所」が 6 例、「地域子育て支援拠点事業」、「乳児家庭全戸訪問事業」がそれぞれ 3 例であった。

心中による虐待死事例では、「なし」が 16 例（43.2%）、「あり」が 12 例（32.4%）であり、「あり」のうち、「保育所入所」が 6 例、「地域子育て支援拠点事業」、「乳児家庭全戸訪問事業」が 3 例であった。

表 I-4-13 子育て支援事業の利用（複数回答）

区分		心中以外の虐待死(45例)		心中による虐待死(未遂を含む)(37例)	
		例数	構成割合	例数	構成割合
なし		23	51.1%	16	43.2%
あり		11	24.4%	12	32.4%
内訳 (再掲) (複数回答)	地域子育て支援拠点事業	3		3	
	養育支援訪問事業	1		0	
	一時預かり事業	1		1	
	ファミリー・サポートセンター事業	0		2	
	病児・病後児保育事業	0		0	
	子育て短期支援事業 (ショートステイ事業)	0		0	
	子育て短期支援事業 (トワイライトステイ事業)	0		0	
	放課後児童健全育成事業	0		1	
	保育所入所	6		6	
	乳児家庭全戸訪問事業	3		3	
不明		11	24.4%	9	24.3%
計		45	100.0%	37	100.0%

○ 養育者の心理的・精神的問題等（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では、実母の場合、「育児不安」が 14 例（31.8%）と最も多く、次いで「養育能力の低さ」が 11 例（25.0%）、「精神障害（医師の診断によるもの）」が 7 例（15.9%）であった。実父の場合、「育児不安」、「養育能力の低さ」がそれぞれ 2 例（6.3%）であった。

心中による虐待死事例では、実母の場合、「精神障害（医師の診断によるもの）」が 14 例（41.2%）と最も多く、次いで「うつ状態」が 8 例（23.5%）、「育

児不安」が7例（20.6％）であり、それぞれ第7次報告と比較して増加していた。実父の場合、「怒りのコントロール不全」、「うつ状態」がそれぞれ2例（6.5％）であった。

表 I - 4 - 1 4 養育者の心理的・精神的問題等（心中以外の虐待死）（複数回答）

区分	実母						実父					
	例数(構成割合/44例)						例数(構成割合/32例)					
	あり		なし		不明		あり		なし		不明	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
育児不安	14	31.8%	4	9.1%	26	59.1%	2	6.3%	7	21.9%	23	71.9%
マタニティーブルー	1	2.3%	8	18.2%	35	79.5%	-	-	-	-	-	-
産後うつ	1	2.3%	12	27.3%	31	70.5%	-	-	-	-	-	-
知的障害	1	2.3%	19	43.2%	24	54.5%	0	0.0%	11	34.4%	21	65.6%
精神障害 (医師の診断によるもの)	7	15.9%	11	25.0%	26	59.1%	0	0.0%	9	28.1%	23	71.9%
身体障害	0	0.0%	27	61.4%	17	38.6%	1	3.1%	16	50.0%	15	46.9%
その他の障害	0	0.0%	19	43.2%	25	56.8%	0	0.0%	14	43.8%	18	56.3%
アルコール依存	1	2.3%	15	34.1%	28	63.6%	0	0.0%	6	18.8%	26	81.3%
薬物依存	0	0.0%	15	34.1%	29	65.9%	1	3.1%	6	18.8%	25	78.1%
衝動性	6	13.6%	3	6.8%	35	79.5%	1	3.1%	6	18.8%	25	78.1%
攻撃性	3	6.8%	4	9.1%	37	84.1%	1	3.1%	6	18.8%	25	78.1%
怒りのコントロール不全	5	11.4%	5	11.4%	34	77.3%	1	3.1%	5	15.6%	26	81.3%
うつ状態	6	13.6%	7	15.9%	31	70.5%	0	0.0%	5	15.6%	27	84.4%
躁状態	0	0.0%	11	25.0%	33	75.0%	0	0.0%	5	15.6%	27	84.4%
感情の起伏が激しい	6	13.6%	4	9.1%	34	77.3%	1	3.1%	6	18.8%	25	78.1%
高い依存性	2	4.5%	7	15.9%	35	79.5%	1	3.1%	6	18.8%	25	78.1%
幻覚	2	4.5%	10	22.7%	32	72.7%	0	0.0%	6	18.8%	26	81.3%
妄想	2	4.5%	8	18.2%	34	77.3%	0	0.0%	6	18.8%	26	81.3%
DVを受けている	1	2.3%	9	20.5%	34	77.3%	1	3.1%	6	18.8%	25	78.1%
DVを行っている	1	2.3%	11	25.0%	32	72.7%	1	3.1%	4	12.5%	27	84.4%
自殺未遂の既往	1	2.3%	10	22.7%	33	75.0%	1	3.1%	5	15.6%	26	81.3%
養育能力の低さ	11	25.0%	5	11.4%	28	63.6%	2	6.3%	6	18.8%	24	75.0%
日本語でのコミュニケーションが難しい (日本語を母国語としていない)	0	0.0%	37	84.1%	7	15.9%	1	3.1%	25	78.1%	6	18.8%

表 I - 4 - 1 5 養育者の心理的・精神的問題等（心中による虐待死）（複数回答）

区分	実母						実父					
	例数(構成割合/34例)						例数(構成割合/31例)					
	あり		なし		不明		あり		なし		不明	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
育児不安	7	20.6%	8	23.5%	19	55.9%	0	0.0%	8	25.8%	23	74.2%
マタニティーブルー	0	0.0%	14	41.2%	20	58.8%	-	-	-	-	-	-
産後うつ	1	2.9%	14	41.2%	19	55.9%	-	-	-	-	-	-
知的障害	1	2.9%	18	52.9%	15	44.1%	0	0.0%	14	45.2%	17	54.8%
精神障害 (医師の診断によるもの)	14	41.2%	8	23.5%	12	35.3%	1	3.2%	9	29.0%	21	67.7%
身体障害	0	0.0%	21	61.8%	13	38.2%	0	0.0%	14	45.2%	17	54.8%
その他の障害	0	0.0%	14	41.2%	20	58.8%	0	0.0%	11	35.5%	20	64.5%
アルコール依存	2	5.9%	7	20.6%	25	73.5%	0	0.0%	6	19.4%	25	80.6%
薬物依存	0	0.0%	8	23.5%	26	76.5%	0	0.0%	7	22.6%	24	77.4%
衝動性	1	2.9%	4	11.8%	29	85.3%	1	3.2%	5	16.1%	25	80.6%
攻撃性	0	0.0%	5	14.7%	29	85.3%	1	3.2%	5	16.1%	25	80.6%
怒りのコントロール不全	0	0.0%	5	14.7%	29	85.3%	2	6.5%	4	12.9%	25	80.6%
うつ状態	8	23.5%	2	5.9%	24	70.6%	2	6.5%	4	12.9%	25	80.6%
躁状態	0	0.0%	5	14.7%	29	85.3%	0	0.0%	6	19.4%	25	80.6%
感情の起伏が激しい	0	0.0%	5	14.7%	29	85.3%	1	3.2%	5	16.1%	25	80.6%
高い依存性	1	2.9%	6	17.6%	27	79.4%	0	0.0%	6	19.4%	25	80.6%
幻覚	1	2.9%	4	11.8%	29	85.3%	0	0.0%	6	19.4%	25	80.6%
妄想	1	2.9%	4	11.8%	29	85.3%	1	3.2%	5	16.1%	25	80.6%
DVを受けている	0	0.0%	9	26.5%	25	73.5%	0	0.0%	7	22.6%	24	77.4%
DVを行っている	0	0.0%	10	29.4%	24	70.6%	1	3.2%	6	19.4%	24	77.4%
自殺未遂の既往	6	17.6%	3	8.8%	25	73.5%	0	0.0%	5	16.1%	26	83.9%
養育能力の低さ	3	8.8%	6	17.6%	25	73.5%	0	0.0%	6	19.4%	25	80.6%
日本語でのコミュニケーションが難しい (日本語を母国語としていない)	0	0.0%	27	79.4%	7	20.6%	0	0.0%	22	71.0%	9	29.0%

5 関係機関の対応

- 児童相談所及び関係機関の関与については、心中以外の虐待死事例では、「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例」が 17 例（37.8%）と最も多く、次いで「関係機関の関与不明」が 13 例（28.9%）、「児童相談所が関わっていた事例（虐待以外の養護相談などで関わっていた事例を含む）」が 7 例（15.6%）であった。

心中による虐待死事例では、「関係機関との接点があったが、虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例」が 23 例（62.2%）と最も多く、次いで「児童相談所が関わっていた事例（虐待以外の養護相談などで関わっていた事例を含む）」が 5 例（13.5%）であった。

表 I - 5 - 1 児童相談所及び関係機関の関与

区分	平成21年4月から平成22年3月まで						平成22年4月から平成23年3月まで					
	心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂を含む)			心中以外の虐待死			心中による虐待死 (未遂を含む)		
	構成割合(47例)			構成割合(30例)			構成割合(45例)			構成割合(37例)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
児童相談所が関わっていた事例 (虐待以外の養護相談などで関わっていた事例を含む)	12	25.5%	27.9%	6	20.0%	24.0%	7	15.6%	21.9%	5	13.5%	15.2%
関係機関が虐待や虐待の可能性を認識していたが、 児童相談所が関わっていなかった事例	4	8.5%	9.3%	0	0.0%	0.0%	2	4.4%	6.3%	2	5.4%	6.1%
関係機関との接点があったが、 虐待や虐待の可能性を認識していなかった事例	16	34.0%	37.2%	16	53.3%	64.0%	17	37.8%	53.1%	23	62.2%	69.7%
関係機関と全く接点を持ちえなかった事例	11	23.4%	25.6%	3	10.0%	12.0%	6	13.3%	18.8%	3	8.1%	9.1%
関係機関の関与不明	4	8.5%	/	5	16.7%	/	13	28.9%	/	4	10.8%	/
計	47	100%	100%	30	100%	100%	45	100%	100.0%	37	100%	100%

表 I - 5 - 2 児童相談所が関与していた事例における関係機関の関与について

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所の関与あり	7	/	5	/
市町村の関与あり(再掲)	6	85.7%	2	40.0%
その他の機関の関与あり(再掲)	6	85.7%	5	100.0%

表 I - 5 - 3 児童相談所の関与の有無

区分	平成21年4月から平成22年3月まで				平成22年4月から平成23年3月まで			
	心中以外の虐待死(47例)		心中による虐待死(未遂を含む)(30例)		心中以外の虐待死(45例)		心中による虐待死(未遂を含む)(37例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	12	25.5%	6	20.0%	7	15.6%	5	13.5%
なし	35	74.5%	24	80.0%	38	84.4%	32	86.5%
計	47	100%	30	100%	45	100.0%	37	100.0%

○児童相談所の関与の有無について、3歳未満と3歳以上とに区別して見ると、心中以外の虐待死事例では、関与「あり」が3歳未満で4例(12.1%)、3歳以上で、3例(25.0%)であった。

表 I - 5 - 4 児童相談所の関与の有無(3歳未満と3歳以上)(心中以外の虐待死)

区分	平成21年4月から平成22年3月まで				平成22年4月から平成23年3月まで			
	3歳未満		3歳以上		3歳未満		3歳以上	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	6	20.7%	6	37.5%	4	12.1%	3	25.0%
なし	23	79.3%	10	62.5%	29	87.9%	9	75.0%
計	29	100%	16	100%	33	100.0%	12	100.0%

○児童相談所での相談種別(複数回答)は、心中以外の虐待死事例では「虐待相談」が6例(85.7%)、心中による虐待死事例では「虐待以外の養護相談」で2例(40%)であった。

表 I - 5 - 5 児童相談所での相談種別(複数回答)

区分	心中以外の虐待死(7例)		心中による虐待死(未遂を含む)(5例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
虐待相談	6	85.7%	0	0.0%
虐待以外の養護相談	2	28.6%	2	40.0%
障害相談	1	14.3%	1	20.0%
非行相談	0	0.0%	1	20.0%
育成相談	0	0.0%	0	0.0%
保健相談	0	0.0%	0	0.0%
その他	0	0.0%	1	20.0%

○市町村（児童家庭相談担当部署）の関与の有無については、関与「あり」が、心中以外の虐待死事例では 10 例（22.2%）、心中による虐待死事例で 5 例（13.5%）であった。

表 I - 5 - 6 市町村（児童福祉担当部署）の関与

区分	平成21年4月から平成22年3月まで				平成22年4月から平成23年3月まで			
	心中以外の虐待死 (47例)		心中による虐待死 (未遂を含む)(30例)		心中以外の虐待死 (45例)		心中による虐待死 (未遂を含む)(37例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	12	25.5%	4	13.3%	10	22.2%	5	13.5%
なし	35	74.5%	26	86.7%	35	77.8%	32	86.5%
計	47	100%	30	100%	45	100.0%	37	100.0%

○市町村（児童家庭相談担当部署）の関与について、3歳未満と3歳以上と区別して見ると、心中以外の虐待死事例では、関与「あり」が3歳未満で7例（21.2%）、3歳以上で3例（25.0%）であった。

表 I - 5 - 7 市町村（児童福祉担当部署）の関与（3歳未満と3歳以上）（心中以外の虐待死）

区分	平成21年4月から平成22年3月まで				平成22年4月から平成23年3月まで			
	3歳未満		3歳以上		3歳未満		3歳以上	
	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	8	27.6%	4	25.0%	7	21.2%	3	25.0%
なし	21	72.4%	12	75.0%	26	78.8%	9	75.0%
計	29	100%	16	100%	33	100.0%	12	100.0%

○市町村（児童福祉担当部署）での相談種別（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では「虐待相談」が5例（50%）、心中による虐待死事例では「虐待以外の養護相談」と「その他」がそれぞれ2例（40%）であった。

表 I - 5 - 8 市町村（児童福祉担当部署）での相談種別（複数回答）

区分	心中以外の虐待死(10例)		心中による虐待死(未遂を含む)(5例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
虐待相談	5	50.0%	0	0.0%
虐待以外の養護相談	1	10.0%	2	40.0%
障害相談	1	10.0%	1	20.0%
非行相談	0	0.0%	0	0.0%
育成相談	2	20.0%	0	0.0%
保健相談	2	20.0%	1	20.0%
その他	1	10.0%	2	40.0%

○児童相談所と市町村（児童福祉担当部署）が両方とも関与していた事例は、心中以外の虐待死事例で45例中6例（13.3%）、心中による虐待死事例で37例中2例（5.4%）であった。

表 I - 5 - 9 児童相談所と市町村（児童福祉担当部署）の関与

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所のみ	1	9.1%	3	37.5%
市町村(児童福祉担当部署)	4	36.4%	3	37.5%
児童相談所と市町村(児童福祉担当部署)の両方	6	54.5%	2	25.0%
計	11	100.0%	8	100.0%

○その他の関係機関の関与の状況（関係機関が関与事例での虐待を認識しているか否かを問わない。次項でも同じ。）（複数回答）は、心中以外の虐待死事例では、「市町村の母子保健担当部署」が20例（44.4%）で最も多く、次いで「医療機関」が18例（40.0%）であった。

心中による虐待死事例では、「市町村の母子保健担当部署」、「養育機関・教育機関」がそれぞれ17例（45.9%）で最も多く、次いで「福祉事務所」、「医療機関」がそれぞれ9例（24.3%）であった。

表 I - 5 - 1 0 その他の関係機関の関与（複数機関）

区分	心中以外の虐待死				心中による虐待死(未遂含む)			
	上段:例数、下段:構成割合/45例				上段:例数、下段:構成割合/37例			
	関 与 な し	関与あり		不 明	関 与 な し	関与あり		不 明
虐待の認識 なし		虐待の認識 あり	虐待の認識 なし			虐待の認識 あり		
福祉事務所	37	6	0	2	24	9	0	4
	82.2%	13.3%	0.0%	4.4%	64.9%	24.3%	0.0%	10.8%
家庭児童相談室	36	1	2	6	27	4	1	5
	80.0%	2.2%	4.4%	13.3%	73.0%	10.8%	2.7%	13.5%
児童委員	33	1	1	10	28	0	0	9
	73.3%	2.2%	2.2%	22.2%	75.7%	0.0%	0.0%	24.3%
保健所	36	4	1	4	28	5	1	3
	80.0%	8.9%	2.2%	8.9%	75.7%	13.5%	2.7%	8.1%
市町村の母子保健担当部署 (保健センター等)	22	18	2	3	18	17	0	2
	48.9%	40.0%	4.4%	6.7%	48.6%	45.9%	0.0%	5.4%
養育機関・教育機関	32	5	4	4	15	17	0	5
	71.1%	11.1%	8.9%	8.9%	40.5%	45.9%	0.0%	13.5%
医療機関	14	15	3	13	16	8	1	12
	31.1%	33.3%	6.7%	28.9%	43.2%	21.6%	2.7%	32.4%
助産師	29	1	0	15	24	2	0	11
	64.4%	2.2%	0.0%	33.3%	64.9%	5.4%	0.0%	29.7%
警察	39	2	1	3	33	1	0	3
	86.7%	4.4%	2.2%	6.7%	89.2%	2.7%	0.0%	8.1%
婦人相談所	32	0	0	13	28	0	0	9
	71.1%	0.0%	0.0%	28.9%	75.7%	0.0%	0.0%	24.3%

○ 児童相談所を含む関係機関の関与状況について、3歳未満と3歳以上とで区別して見ると、「いずれかの関与あり」は3歳未満で22例（有効割合で88.0%）、3歳以上で7例（同70.0%）であった。

表 I-5-1-1 児童相談所を含む関係機関の関与（3歳未満と3歳以上）（心中以外の虐待死）

区分	3歳未満			3歳以上		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
いずれかの関与あり	22	66.7%	88.0%	7	58.3%	70.0%
全く関与なし	3	9.1%	12.0%	3	25.0%	30.0%
不明	8	24.2%		2	16.7%	
計	33	100.0%	100.0%	12	100.0%	100.0%

○ 虐待通告の有無については、心中以外の虐待死事例で、「あり」が7例（有効割合で17.1%）であり、通告先は「児童相談所」が4例（同9.8%）、「市町村」が3例（同7.3%）であった。

心中による虐待死事例では、「あり」が4例（同11.1%）であった。

表 I-5-1-2 虐待通告の有無

区分		平成21年4月から平成22年3月まで					
		心中以外の虐待死			心中による虐待死（未遂を含む）		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		37	78.7%	80.4%	26	86.7%	86.7%
あり		9	19.1%	19.6%	4	13.3%	13.3%
内訳 （再掲）	児童相談所	7	14.9%	15.2%	3	10.0%	10.0%
	市町村	2	4.3%	4.3%	1	3.3%	3.3%
	福祉事務所	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明		1	2.1%		0	0.0%	
計		47	100%	100%	30	100%	100%
区分		平成22年4月から平成23年3月まで					
		心中以外の虐待死			心中による虐待死（未遂を含む）		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		34	75.6%	82.9%	32	86.5%	88.9%
あり		7	15.6%	17.1%	4	10.8%	11.1%
内訳 （再掲）	児童相談所	4	8.9%	9.8%	2	5.4%	5.6%
	市町村	3	6.7%	7.3%	2	5.4%	5.6%
	福祉事務所	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明		4	8.9%		1	2.7%	
計		45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%

- 虐待通告の有無について、3歳未満と3歳以上とで区別して見ると、心中以外の虐待死事例では、3歳未満で「あり」が5例（有効割合で17.2%）であり、通告先は「児童相談所」が3例（同10.3%）、「市町村」が2例（同6.9%）であった。3歳以上では、「あり」が2例（同16.7%）であり、通告先は「児童相談所」、「市町村」がそれぞれ1例（同8.3%）であった。

表 I-5-13 虐待通告の有無（3歳未満と3歳以上）（心中以外の虐待死）

区分		3歳未満			3歳以上		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		24	72.7%	82.8%	10	83.3%	83.3%
あり		5	15.2%	17.2%	2	16.7%	16.7%
内訳 (再掲)	児童相談所	3	9.1%	10.3%	1	8.3%	8.3%
	市町村	2	6.1%	6.9%	1	8.3%	8.3%
	福祉事務所	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明		4	12.1%		0	0.0%	
計		33	100.0%	100.0%	12	100.0%	100.0%

- 児童相談所の虐待についての認識は、心中以外の虐待死事例では、児童相談所の関与があった7事例のうち、「虐待の認識があり、対応していた」事例、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」事例がそれぞれ3例（42.9%）であった。

心中による虐待死事例では、児童相談所の関与があった事例のうち、「虐待の認識があり、対応していた」事例はなく、「虐待の可能性は認識していたが、確定していなかった」事例が1例（20%）「虐待の認識はなかった」事例が4例（80%）であった。

表 I-5-14 児童相談所の虐待についての認識

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
虐待の認識があり、対応していた	3	42.9%	0	0.0%
虐待の可能性は認識していたが、 確定していなかった	3	42.9%	1	20.0%
虐待の認識はなかった	1	14.3%	4	80.0%
計	7	100.0%	5	100.0%

○ リスク判定の定期的な見直しを行っていたか否かについては、心中以外の虐待死事例では、児童相談所の関与があった7事例のうち、「行わなかった」が5例（71.4%）であった。

心中による虐待死事例では、児童相談所の関与があった5事例のうち、「行わなかった」が5例（100.0%）であった。

表 I-5-15 児童相談所におけるリスク判定の定期的な見直し

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
行った	1	14.3%	0	0.0%
行わなかった	5	71.4%	5	100.0%
不明	1	14.3%	0	0.0%
計	7	100.0%	5	100.0%

○ 児童相談所と子どもとの接触については、心中以外の虐待死事例では、児童相談所の関与があった7例のうち、「あり」が3例（42.9%）、「なし」が4例（57.1%）であった。

心中による虐待死事例では、児童相談所の関与があった5例のうち、「あり」が4例（80.0%）、「なし」が1例（20.0%）であった。

表 I-5-16 児童相談所と子どもとの接触

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)		
		例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
なし		4	57.1%	57.1%	1	20.0%	20.0%
あり		3	42.9%	42.9%	4	80.0%	80.0%
内訳 (再掲)	初回面接(訪問)時のみ	2	28.6%	28.6%	1	20.0%	20.0%
	週1回程度	1	14.3%	14.3%	0	0.0%	0.0%
	2週間に1回程度	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	3週間に1回程度	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	1ヶ月に1回程度	0	0.0%	0.0%	2	40.0%	40.0%
	2ヶ月に1回程度	0	0.0%	0.0%	1	20.0%	20.0%
	3ヶ月に1回程度	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	その他	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
不明		0	0.0%		0	0.0%	
計		7	100.0%	100.0%	5	100.0%	100.0%

- 児童相談所による最終安全確認の時期については、心中以外の虐待死事例では、児童相談所の関与があった7例のうち、「死亡前の1週間未満」が2例(28.6%)であった。

心中による虐待死事例では、児童相談所の関与があった5例のうち、「死亡前の1週間未満」、「死亡前の半年以上」がそれぞれ2例(40.0%)であった。

表 I-5-17 児童相談所による最終安全確認の時期

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
死亡前の1週間未満	2	28.6%	2	40.0%
死亡前の1週間～1ヶ月未満	1	14.3%	0	0.0%
死亡前の1ヶ月～3ヶ月未満	1	14.3%	0	0.0%
死亡前の3ヶ月～半年未満	0	0.0%	0	0.0%
死亡前の半年以上	0	0.0%	2	40.0%
不明・未記入	3	42.9%	1	20.0%
計	7	100.0%	5	100.0%

- 関係機関同士の連携(児童相談所の関与の有無に関わらない。)については、心中以外の虐待死事例のうち、「なし」が27例(有効割合で65.9%)、「あり」が14例(同34.1%)であり、「あり」のうち、「まあまあ取れていた」事例、「あまり取れていなかった」事例がそれぞれ5例(同12.2%)であった。

心中による虐待死事例のうち、「なし」が26例(同78.8%)、「あり」が7例(同21.2%)であり、「あり」のうち、「まあまあ取れていた」が4例(同12.1%)、「よく取れていた」が3例(同9.1%)であった。

表 I-5-18 関係機関同士の連携

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)			
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合	
なし	27	60.0%	65.9%	26	70.3%	78.8%	
あり	14	31.1%	34.1%	7	18.9%	21.2%	
内訳(再掲)	よく取れていた	1	2.2%	2.4%	3	8.1%	9.1%
	まあまあとれていた	5	11.1%	12.2%	4	10.8%	12.1%
	あまり取れていなかった	5	11.1%	12.2%	0	0.0%	0.0%
	ほとんど取れていなかった	3	6.7%	7.3%	0	0.0%	0.0%
不明	4	8.9%		4	10.8%		
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%	

6 きょうだい

- きょうだいの状況（同居・別居を問わない。）については、死亡事例全体（82例）のうち、「なし（ひとりっ子）」が34例（有効割合で46.6%）、「1人（2人きょうだい）」が24例（同32.9%）、「2人（3人きょうだい）」が10例（同13.7%）であった。

複数の子ども（きょうだい）が死亡した事例は、心中以外の虐待死事例では4例（6人）、心中による虐待死事例では8例（10人）であった。

表 I-6-1 きょうだいの有無

区分	例数	構成割合	有効割合
なし(ひとりっ子)	34	41.5%	46.6%
1人(2人きょうだい)	24	29.3%	32.9%
2人(3人きょうだい)	10	12.2%	13.7%
3人(4人きょうだい)	5	6.1%	6.8%
4人(5人きょうだい)	0	0.0%	0.0%
5人(6人きょうだい)	0	0.0%	0.0%
不明	9	11.0%	
計	82	100.0%	100.0%

- きょうだいの性別については、きょうだいの総数（本人を除く）59人のうち生存している41人をみると、心中以外の虐待死事例では、女14人(60.9%)、男9人(39.1%)、心中による虐待死事例では、女11人(61.1%)、男7人(38.9%)であった。

表 I-6-2 きょうだいの性別

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
男	9	39.1%	7	38.9%
女	14	60.9%	11	61.1%
計	23	100.0%	18	100.0%

○ 生存しているきょうだいの年齢は、心中以外の虐待死事例では、「0歳」が4人(17.4%)、「2歳」、「5歳」、「8歳」、「9歳」、「14歳」、「20歳以上」がそれぞれ2人(8.7%)であった。

心中による虐待死事例では、「20歳以上」が3人(16.7%)と最も多かった。

表 I-6-3 きょうだいの年齢

区分	心中以外の虐待死(23人)		心中による虐待死(未遂含む)(18人)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
0歳	4	17.4%	1	5.6%
1歳	0	0.0%	0	0.0%
2歳	2	8.7%	0	0.0%
3歳	0	0.0%	2	11.1%
4歳	0	0.0%	1	5.6%
5歳	2	8.7%	1	5.6%
6歳	1	4.3%	0	0.0%
7歳	1	4.3%	0	0.0%
8歳	2	8.7%	0	0.0%
9歳	2	8.7%	1	5.6%
10歳	0	0.0%	0	0.0%
11歳	0	0.0%	1	5.6%
12歳	1	4.3%	1	5.6%
13歳	1	4.3%	1	5.6%
14歳	2	8.7%	1	5.6%
15歳	0	0.0%	1	5.6%
16歳	1	4.3%	0	0.0%
17歳	0	0.0%	0	0.0%
18歳	1	4.3%	0	0.0%
19歳	0	0.0%	1	5.6%
20歳以上	2	8.7%	3	16.7%
不明	1	4.3%	3	16.7%
計	23	100.0%	18	100.0%

- 本児死亡時における生存しているきょうだいの同居の状況については、同居「あり」が、心中以外の虐待死事例で 11 人（有効割合で 47.8%）、心中による虐待死事例で 12 人（同 66.7%）であった。

表 I-6-4 死亡時のきょうだいの同居

区分	心中以外の虐待死(23人)			心中による虐待死(未遂含む)(18人)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
あり	11	47.8%	47.8%	12	66.7%	66.7%
なし	12	52.2%	52.2%	6	33.3%	33.3%
不明	0	0.0%		0	0.0%	
計	23	100.0%	100.0%	18	100.0%	100.0%

- 生存しているきょうだいの養育機関・教育機関等への所属については、心中以外の虐待死事例では、「なし」が 7 人（有効割合で 33.3%）、「小学校」が 6 人（同 28.6%）、「保育所」が 4 人（同 19.0%）であった。

心中による虐待死事例では、「小学校」、「中学校」、「その他」がそれぞれ 4 人（同 23.5%）であった。

表 I-6-5 きょうだいの養育機関・教育機関への所属

区分	心中以外の虐待死(23人)			心中による虐待死(未遂含む)(18人)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
なし	7	30.4%	33.3%	3	16.7%	17.6%
保育所	4	17.4%	19.0%	2	11.1%	11.8%
幼稚園	1	4.3%	4.8%	0	0.0%	0.0%
小学校	6	26.1%	28.6%	4	22.2%	23.5%
中学校	2	8.7%	9.5%	4	22.2%	23.5%
高等学校	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
大学	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他	1	4.3%	4.8%	4	22.2%	23.5%
不明	2	8.7%		1	5.6%	
計	23	100.0%	100.0%	18	100.0%	100.0%

- 生存しているきょうだいが虐待を受けた経験については、体験「あり」が心中以外の虐待死事例で3人（有効割合で27.3%）、心中による虐待死事例で2人（同22.2%）であった。ただし、不明が半数以上みられた。

表 I-6-6 きょうだいが虐待を受けた経験

区分		心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂含む)		
		人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
あり		3	13.0%	27.3%	2	11.1%	22.2%
内訳 (再掲)	身体的虐待	1	4.3%	9.1%	2	11.1%	22.2%
	ネグレクト	2	8.7%	18.2%	0	0.0%	0.0%
	心理的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
	性的虐待	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
なし		8	34.8%	72.7%	7	38.9%	77.8%
不明		12	52.2%		9	50.0%	
計		23	100.0%	100.0%	18	100.0%	100.0%

- 生存しているきょうだいに対する児童相談所の関与について、過去に児童相談所の関与「あり」が、心中以外の虐待死事例で5人（21.7%）、心中による虐待死事例で3人（16.7%）であった。

表 I-6-7 きょうだいに対する児童相談所の関与

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
あり	5	21.7%	3	16.7%
なし	17	73.9%	15	83.3%
不明	1	4.3%	0	0.0%
計	23	100.0%	18	100.0%

- 生存しているきょうだいに対する市町村の関与について、過去に市町村の関与「あり」が、心中以外の虐待死事例で4人（17.4%）、心中による虐待死事例で3人（16.7%）であった。

表 I-6-8 きょうだいに対する市町村の関与

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
	人数	構成割合	人数	構成割合
あり	4	17.4%	3	16.7%
なし	18	78.3%	15	83.3%
不明	1	4.3%	0	0.0%
計	23	100.0%	18	100.0%

- 生存しているきょうだいに対する本児の児童相談所等による死亡時の対応の有無について、心中以外の虐待死事例では、「あり」が7例（43.8%）で、7例の内訳（複数回答）は、「安全確認」が6例、「親からの分離」、「心理的ケア」、「その他」がそれぞれ2例であった。

心中による虐待死事例では、「あり」が6例（54.5%）で、6例の内訳（複数回答）は「安全確認」が5例であった。

表 I-6-9 きょうだいに対する死亡時の対応

区分		心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂含む)	
		例数	構成割合／16例	例数	構成割合／11例
なし		8	50.0%	5	45.5%
あり		7	43.8%	6	54.5%
内訳 (再掲) (複数回答)	安全確認	6	/	5	/
	面接	1		0	
	親からの分離	2		0	
	心理的ケア	2		0	
	その他	2		1	
不明		1	6.3%	0	0.0%
計		16	100.0%	11	100.0%

- 事例発生後のきょうだいの居所について、心中以外の虐待死事例では、「自宅」が10人（有効割合で50.0%）、「その他」が7人（同35.0%）、「祖父母宅」が2人（同10.0%）であった。「その他」の居所は、加害者でない養育者宅等であった。

心中による虐待死事例では、「自宅」が9人（同50.0%）、「その他」が6人（同33.3%）、「祖父母宅」が2人（同11.1%）であった。「その他」の居所は、父母のきょうだいや里親宅等であった。

表 I-6-10 きょうだいの居所

区分	心中以外の虐待死(23人)			心中による虐待死(未遂含む)(18人)		
	人数	構成割合	有効割合	人数	構成割合	有効割合
自宅	10	43.5%	50.0%	9	50.0%	50.0%
祖父母宅	2	8.7%	10.0%	2	11.1%	11.1%
児童養護施設	1	4.3%	5.0%	1	5.6%	5.6%
母子生活支援施設	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
シェルター	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
すでに死亡	0	0.0%	0.0%	0	0.0%	0.0%
その他	7	30.4%	35.0%	6	33.3%	33.3%
不明	3	13.0%		0	0.0%	
計	23	100.0%	100.0%	18	100.0%	100.0%

7 要保護児童対策地域協議会（子どもを守る地域ネットワーク）

- 死亡事例が発生した地域における要保護児童対策地域協議会の有無については、心中以外の虐待死事例、心中による虐待死事例ともに全事例の地域で設置されていた。

表 I-7-1 要保護児童対策地域協議会の有無

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	45	100.0%	37	100.0%
なし	0	0.0%	0	0.0%
計	45	100.0%	37	100.0%

- 死亡事例が発生した地域の要保護児童対策地域協議会に参加している機関（複数回答）については、「児童相談所」、「市町村担当課」、「警察」、「児童委員」、「幼稚園」、「小学校」、「教育委員会」及び「保育所」の参加率が高かった。

表 I - 7 - 2 要保護児童対策地域協議会に参加している機関（複数回答）

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂を含む)	
	例数	構成割合／45例	例数	構成割合／37例
児童相談所	45	100.0%	36	97.3%
市町村担当課	44	97.8%	33	89.2%
福祉事務所	41	91.1%	31	83.8%
児童家庭支援センター	13	28.9%	6	16.2%
保健所	34	75.6%	30	81.1%
保健センター	27	60.0%	29	78.4%
医療機関	36	80.0%	33	89.2%
保育所	41	91.1%	35	94.6%
認可外保育施設	4	8.9%	2	5.4%
幼稚園	42	93.3%	33	89.2%
小学校	42	93.3%	32	86.5%
中学校	42	93.3%	32	86.5%
高等学校	8	17.8%	10	27.0%
児童委員	43	95.6%	36	97.3%
警察	44	97.8%	36	97.3%
裁判所	7	15.6%	5	13.5%
弁護士	18	40.0%	10	27.0%
民間団体	19	42.2%	16	43.2%
教育委員会	42	93.3%	33	89.2%
児童館	9	20.0%	8	21.6%
児童養護施設などの児童福祉施設	26	57.8%	15	40.5%
社会福祉協議会	19	42.2%	21	56.8%
婦人相談所	8	17.8%	4	10.8%
配偶者暴力支援センター	7	15.6%	3	8.1%
婦人保護施設	4	8.9%	0	0.0%
その他	26	57.8%	20	54.1%

- 死亡事例が発生した地域における要保護児童対策地域協議会の一般的な活用の程度については、心中以外の虐待死事例では、「よく活用している」、「ある程度活用している」がそれぞれ 21 例（46.7%）、「あまり活用していない」が 3 例（6.7%）、「ほとんど活用していない」が 0 例であった。

心中による虐待死事例では、「よく活用している」が 23 例（62.2%）、「ある程度活用している」が 10 例（27.0%）、「あまり活用していない」が 4 例（10.8%）、「ほとんど活用していない」が 0 例であった。

表 I - 7 - 3 要保護児童対策地域協議会の一般的な活用度

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
よく活用している	21	46.7%	23	62.2%
ある程度活用している	21	46.7%	10	27.0%
あまり活用していない	3	6.7%	4	10.8%
ほとんど活用していない	0	0.0%	0	0.0%
計	45	100.0%	37	100.0%

- 要保護児童対策地域協議会における本事例についての検討の有無は、心中以外の虐待死事例では、検討「あり」が 3 例（6.7%）、「なし」が 42 例（93.3%）、心中による虐待死事例では、検討「あり」が 1 例（2.7%）、「なし」が 36 例（97.3%）であった。

表 I - 7 - 4 本事例についての検討の有無

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
あり	3	6.7%	1	2.7%
なし	42	93.3%	36	97.3%
計	45	100.0%	37	100.0%

8 死亡後の対応

- 死亡情報の入手先（死亡情報をどこから得たか）（複数回答）については、心中以外の虐待死事例では、「報道」が36例（80.0%）と最も多く、次いで「警察」が20例（44.4%）、「医療機関」が7例（15.6%）であった。
- 心中による虐待死事例では、「報道」が29例（78.4%）と最も多く、次いで「警察」が12例（32.4%）、「家族」が5例（13.5%）であった。

表 I-8-1 死亡情報の入手先（複数回答）

区分	心中以外の虐待死(45例)		心中による虐待死(未遂を含む)(37例)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
医療機関	7	15.6%	1	2.7%
警察	20	44.4%	12	32.4%
報道	36	80.0%	29	78.4%
家族	5	11.1%	5	13.5%
その他	6	13.3%	5	13.5%

- 行政機関内部における検証については、心中以外の虐待死事例では11例（24.4%）で、心中による虐待死事例では5例（13.5%）で実施していた。「実施した」及び「実施中」を合わせた事例数は、心中以外の虐待死事例では16例（35.5%）、心中による虐待死事例では6例（16.2%）であった。

表 I-8-2 行政機関内部による当該事例についての検証の実施

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死(未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
実施した	11	24.4%	5	13.5%
実施していない	29	64.4%	31	83.8%
実施中	5	11.1%	1	2.7%
計	45	100.0%	37	100.0%

- 行政機関内部での検証における検証チームの構成員については、心中以外の虐待死事例では、検証を「実施した」及び「実施中」の16例のうち、「児童相談所と市町村と都道府県・指定都市、児童相談所設置市（本庁）」が4例（25.0%）、「児童相談所と市町村」が3例（18.8%）であった。

心中による虐待死事例では、「実施した」及び「実施中」の6例のうち、「児童相談所のみ」、「児童相談所と市町村」、「児童相談所と市町村と都道府県・指定都市、児童相談所設置市（本庁）」、「児童相談所と市町村とその他機関」、「児童相談所と市町村と都道府県・指定都市、児童相談所設置市（本庁）」とその他機関」がそれぞれ1例（16.7%）であった。

表 I - 8 - 3 行政機関内部による検証における検証チームの構成

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死（未遂含む）	
	例数	構成割合	例数	構成割合
児童相談所のみ	1	6.3%	1	16.7%
その他の機関	0	0.0%	0	0.0%
児童相談所と市町村	3	18.8%	1	16.7%
市町村とその他機関	0	0.0%	0	0.0%
児童相談所と市町村と都道府県・指定都市、児童相談所設置市（本庁）	4	25.0%	1	16.7%
児童相談所と市町村とその他機関	1	6.3%	1	16.7%
児童相談所と都道府県・指定都市、児童相談所設置市（本庁）とその他機関	0	0.0%	0	0.0%
児童相談所と市町村と都道府県・指定都市、児童相談所設置市（本庁）とその他機関	2	12.5%	1	16.7%
上記以外	5	31.3%	1	16.7%
計	16	100.0%	6	100.0%

- 第三者による検証については、心中以外の虐待死事例では10例(22.2%)、心中による虐待死事例では2例(5.4%)で実施していた。「実施した」及び「実施中」を合わせた事例数は、心中以外の虐待死事例では14例(31.1%)、心中による虐待死事例では3例(8.1%)であった。

表 I-8-4 第三者による当該事例についての検証の実施

区分	心中以外の虐待死		心中による虐待死 (未遂を含む)	
	例数	構成割合	例数	構成割合
実施した	10	22.2%	2	5.4%
実施していない	31	68.9%	34	91.9%
実施中	4	8.9%	1	2.7%
計	45	100.0%	37	100.0%

- 対象事例に関し、虐待死を防ぐために危機感を持つべきだったと思われる時期については、心中以外の虐待死事例では、死亡に至る「1週間～1ヶ月未満」前、「1ヶ月～3ヶ月未満」前、「半年以上」前がそれぞれ7例(有効割合で24.1%)、心中による虐待死事例では、死亡に至る「1週間未満」前が12例(同46.2%)であった。

表 I-8-5 本事例に関し、危機感を持つべきだったと思われる時期

区分	心中以外の虐待死			心中による虐待死(未遂を含む)		
	例数	構成割合	有効割合	例数	構成割合	有効割合
1週間未満	3	6.7%	10.3%	12	32.4%	46.2%
1週間～1ヶ月未満	7	15.6%	24.1%	7	18.9%	26.9%
1ヶ月～3ヶ月未満	7	15.6%	24.1%	2	5.4%	7.7%
3ヶ月～半年未満	5	11.1%	17.2%	1	2.7%	3.8%
半年以上	7	15.6%	24.1%	4	10.8%	15.4%
不明・未記入	16	35.6%		11	29.7%	
計	45	100.0%	100.0%	37	100.0%	100.0%